



週報

Rotary
OITA JOSAI, 2720



会長：村上智貴
幹事：伊藤秀海

国際ロータリー会長
ジェニファー・ジョーンズ
第2720地区ガバナー
堀川 貴史
大分第4Gガバナー補佐
藤田 千克由



IMAGINE
ROTARY

大分城西ロータリークラブ

クラブ スローガン「ロータリーを日常に」

地区スローガン

ロータリーはつながりで溢れている
～友情いっぱい仲間となにかよいことをしましょう～

<四つのテスト> 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

2022-2023 第44回例会

5月31日 No.1523

青少年奉仕月間

◆ 本日のプログラム

12:30 点 鐘

ロータリーソング「四つのテスト」

ゲスト・ビジターの紹介 村上 智貴 会長

会長の時間 村上 智貴 会長

出席報告及び幹事報告 伊藤 秀海 幹事

ロータリー情報 R情報担当委員

委員会報告 各 委 員 会

スマイルボックス 親 睦 担 当

13:00 卓話の時間

西嶋 しのぶ 様 (FM大分パーソナリティー)

「子どもたちに思い出を届ける」

◆ 今週のお祝い

- 配偶者誕生日 首藤哲也会員 晴菜夫人 6月2日
眞上 晋会員 久実夫人 6月3日

◆ 幹事報告

- 本日次年度の奉仕活動計画の書式を配布しております。提出期限は6/7(水)となっておりますので作成の上事務局までご提出をお願いいたします。
- 日田RC創立60周年記念式典のご案内
10月22日(日) 15:00～
「マリエールオークパイン日田」
詳細については後日とのご連絡ですので、スケジュールのみご確認下さい。
- 先日ご案内しております、家庭集会につきまして担当幹事の方は日程、場所、欠席者の方を事務局までお知らせください。

◆ 今後の例会予定

- 6月 7日(水) 青少年奉仕部門出前セミナー
- 6月14日(水) クラブ協議会「次年度奉仕計画の発表」
- 6月21日(水) 感謝のつどい
- 6月28日(水) 定款に伴う例会取りやめ
- 7月 5日(水) 衛藤会長・中山幹事の挨拶

● 職業奉仕スピーチ (6/7)芳崎

◆ 会長の時間 (5月24日)

会長 村上 智貴

G7広島サミットが行われました。各国の首脳が原爆ドームと宮島を訪れているのを見て、40年前に私が小学校の修学旅行で行った場所と同じなのが感慨深いです。

僕が原爆ドームと資料館を見たのは衝撃的な体験でした。資料館で金属が溶けている実物を見て、そんなに熱くなったのかと想像しました。それ以来、原子力の大きさや危険性がどれほど強いものなのかを子どもながらに理解し、自分では実体験したくないと強く感じました。その後からは原爆や戦争についての情報に触れるたびに、そのことを思い出して反戦意識を繰り返し強くするきっかけとなりました。今回G7首脳たちは初めて広島に来た人が多かったと思いますが、核について考える時に同じ気持ちになればと願います。

修学旅行といえば、コロナ禍では県境を超えないように県内だけだったのを、今年から大半の学校が県外に戻っていると新聞で報道されていました。一部には郷土のことを詳しく知ることを目的に、県内の修学旅行を継続するところもあるようです。宇佐市の平和資料館や、日出町の人間魚雷：回天を見て戦争が身近にあったことを知れば平和への気持ちは強くなると思いますが、被害の悲惨さの強い情報を知る方が記憶に残るという面もあります。

原爆被害の辛い状況を描写した「はだしのゲン」という有名な漫画がありますが、広島市の小学校低学年の平和教育資料として今年から使われなくなったというニュースがありました。池の鯉を盗む主人公の行動など当時の食糧難などの状況に補足説明が必要で「現在の子どもの実態に合わない」という理由からだそうです。現在の実態と合わないから理解しにくいという理屈だと、歴史教育は一切成り立たないので、この漫画だけを資料から外すのは意図的だと非難されて捉えられても仕方ないことです。漫画をあらためて読みましたが、終戦前後の辛い体験が主人公の周りに集中するところはフィクションとしても、個別の出来事は実際に起きていたことで、当時の様子を伝える貴重な資料だと思います。実際の体験者が少なくなっている上に、こんなところからも戦争体験の風化が進むのは残念です。

ウクライナにはイギリスから劣化ウラン弾が供与されたようですが、この核兵器の爆発でゲンと同じような犠牲者が出ないことを願うばかりです。今週末のIMではインターアクトの高校生たちが平和について語り合います。場所は平和市民公園能楽堂ですので、名称も平和につながっています。ロータリーの平和大使だけでなく、より多くの人が平和について思いを寄せて平和実現へとつながれば嬉しいです。

出席報告	5月24日					4月26日			
	会員総数	出席者数	出席率	ゲスト	ビジター	会員総数	出席率	補填数	修正出席率
	33名	29名	87.88%	0名	0名	34名	78.79%	1名	81.82%

編集担当 5月 佐藤 憲幸
6月 岩尾 隆志

職業奉仕スピーチ

寺崎 直史 会員

職業分類は弁護士ですが、日々の業務に追われて職業奉仕という奉仕はできておりません。

弁護士EAP協会という団体に入って、まだ全然活動はできておりませんが、これからこの活動に力を注いでいきたいと思っています。

EAPというのは、Employee Assistance Programの略で、従業員支援プログラムと訳され、職場のメンタルヘルスサービスです。職場のメンタルヘルスといえば、心理カウンセラーやドクターが関わっていくのは通常だと思いますが、弁護士によるEAPというのは、法律の専門家である弁護士の視点で従業員が抱える問題を分析、改善、解決を目指すサービスです。

具体的には、契約を結んでいる企業の従業員や関係者であれば、プライベートの悩みやトラブルについて無料で弁護士の相談を受けられるというものです。

借金問題や離婚問題、相続問題などトラブルを抱えると、ストレスで不眠になったり、活力が奪われて、職場の業務に多大な支障を来し、生産性が下がります。従業員本人のみならず、家族がトラブルに遭う場合も同様です。

このような場合に、身近に気軽に相談できる弁護士がいることで、早期に相談・助言を受けて、トラブルを未然に予防したり、深刻化する前に解決でき、その結果、従業員が職務に専念できて、企業の生産性が上がり、離職率の低下も見込めます。

私も顧問企業にはこのサービスを導入していて、借金問題や離婚問題で相談や依頼を受けることもあります。ただ、弁護士に相談するのは敷居が高いとか、電話予約して事務所で面談するのは躊躇する人も多いと思いますので、これからもっと周知活動に力を入れたり、匿名での相談や電話での相談も受けて、大分で1番気軽に相談できる弁護士を目指していきたいと思っています。

スマイルボックス

☺渡邊 陽子 会員（2口）

お誕生日に綺麗なお花をありがとうございました。今でも私の心を慰めていただいておりますよ!!

☺佐藤 憲幸 会員（1口）

昨夜、宅配された小包に送り主の名前がなく「宅配詐欺」かと大騒ぎになり、と言っても、二人だけですが直ぐに神野寛明さんに連絡してアドバイスを貰い対応策を完全にし寝ようとしたら娘から電話があり荷物ついた?との連絡で「えっ!」と??のところ初給料をもらったので記念に買って送ったそうでした。中身は高そうなドライバーでした。

ご迷惑をおかけした神野寛明さんへの感謝と娘の自立したお祝いに1口申告いたします。

クラブ協議会「次年度委員会ごとの奉仕計画の協議」

●管理運営委員会

- ・夜例会は懇親を深めるために継続したい
- ・野球観戦やバス旅行など野外家族例会を企画したらどうか

- ・クリスマス例会は例年と違う趣向で開催したいという意見あり
- ・前年度より例会数が減るが、外部卓話をできる限り行いたい
- ・ロータリー情報は地区の情報など充実させたい

●公共イメージ向上委員会

<IT>

- ・ホームページのセキュリティ不具合がみつかり、現在改修中。
- ・facebookでの例会紹介で、新たな取り組みを模索。

<週報>

- ・来年度から印刷会社での週報の印刷は取りやめ、HP上にアップロードして、そのURLをメールや、QRコードで配信する。
- ・このため、これまで印刷会社が行っていた週報編集作業は、会員が行う。
- ・週報編集作業、校正作業の担当分け、作業の期限をはっきりと決めて、例会の開催に支障のないように、週報が発行できるように取り組む。

●職業奉仕委員会

- ・上期の職場訪問例会は、7月にマクドナルド府内大橋店への訪問を計画中。

●社会奉仕委員会報告

次年度社会奉仕活動について話し合いをしました。

- 城西ロータリークラブが掲げている「子どもたちに伝えたい、ふるさとの良さ、日本のすばらしさ」を基本に「明るく・楽しく・ためになる」を合い言葉に活動をしていく。
- ① 昨年度まで継続している事業「田植え、稲刈り農業体験」「湯布院花見清掃活動」を今年度も実施する。
 - ② 今年度新たに「子ども職業体験事業」を実施する。来年2月・コンパルホール。内容などは今後つめていく。
 - ③ その他、ホテル鑑賞会の実施・環境保全活動などについて話し合われました。

●国際奉仕委員会

1. 国際奉仕

① 現在

頓挫しているケニアプロジェクトを遂行していくために、台湾RCと姉妹締結をすることが提案されている。

これを受けて、次年度は例会にすでに姉妹クラブとして活動しているほかのクラブに卓話などしていただき、検討していきたい。

② ウクライナからの難民に対する人道支援を推進

2. 米山奨学会

奨学生との交流活動を実施

コロナ禍で活動が停滞しており、コロナ以前にどのような活動をしていたのか、カウンセラー経験者に教えてほしい。

3. R財団

R財団への理解を深めていただくために、例会で特に新入会委員を対象に用語の説明、情報提供を実施する。